

うまい話にご用心

貸します詐欺

夫に内緒で複数の金融業者から借り入れをしていたAさんは、返済のために借り入れを繰り返す生活を送っていた。

借金を何とかしたいと考えていたある日、自宅に送られてきた大手金融機関の『低金利、債務一本化』のダイレクトメールを見て融資を申し込んだところ、翌日担当者から連絡があり、「登録料が必要です。そのお金は融資のときに返還します」などと言われすぐに振り込んだ。

その後、「登録のエラーが出たのでもう一度振り込んでください」と言われ再び振り込んだが、融資は行われなかった。

Aさんは市の相談室に相談し、架空の業者であることが分かったが、すでに電話も通じなかった。

貸します詐欺は、こんな手口で多重債務者や低所得者を狙い、『お金を貸します』といった内容のダイレクトメールや携帯メールを送りつけ、融資する前に登録料や保険金名目でお金を振り込ませようとしています。

今月号から、『福祉（高齢・介護・障がい）の窓』に替わり、消費生活に関するトラブル事例の紹介や注意を喚起する『うまい話にご用心』を掲載します。

○甘い誘いに要注意

『低金利・高額貸付』や『債務一本化』といった甘い誘い文句の広告、取り引き関係のないところから突然送られてくるダイレクトメールや携帯メールなどに注意しましょう。

○詐欺の手口

融資を受ける前にさまざまな口実でお金を要求してきます。正規の金融機関が、融資実行前にお金を振り込ませることは絶対にありません。

○多重債務は解決できます

クレジットカード会社やサラ金から借金を重ね、返済が困難になるといった多重債務に陥る人が増えていきます。多重債務は必ず解決できますので、借金返済のための借金はせずに、できるだけ早く市の消費生活相談窓口にご相談ください。

▼問い合わせ 市民サービスグループ (☎ 3491)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち Group

和紙の会

『和紙の会』は、平成10年に図書館に展示されていたちぎり絵を見て、自分たちも作ってみたいと思いい、お寺で知り合った仲間が中心となり結成されました。

現在、会員は6人で、毎月第1金曜日の9時30分から婦人センターで、ちぎり絵や和紙工芸、押し絵、張り絵など、和紙を使った作品を制作しています。

「和紙は色紙と違って、やわらかさや温かさがあり、重ねれば奥行き感を表現できるのが特徴です。今は主にちぎり絵を中心に取り組んでいます。細かい作業は手先の器用な日本人にぴったりだと思えます。そろえるのはピンセットとはさみとのりだけで、和紙などは会で用意します」と話すのは代表の山田はつ子さん。

「毎回イメージを決めて作品を



制作しています。小さい作品だと1回の活動で、大きい作品でも3回の活動で完成することができます。今は年1回の文化祭の出展に向けて作品を制作中です」と山田さんは会の様子を話してくれました。

平成10年に入会した古名ヨシエさんは「お寺へお参りに行ったとき、飾っていた和紙の会の作品が気に入って入会しました。最初の作品ができたときはとてもうれしかったです。自宅に飾った作品を訪れた方が褒めてくれるのがとても励みになっています。友人にプレゼントするととても喜んでくれますし、今は生きがいになってますね」と楽しそうに話してくれました。

入会を希望される方は、山田さん (☎ 4254) までどうぞ。

日本の伝統的な和紙の持つやさしさに心が和みます

